

一般社団法人日本毒性学会会員各位

大型放射光施設 SPring-8 は、我が国を代表する共用施設として、1997 年の利用開始以来、延べ 30 万人を超える多くの皆様にご利用頂いてきました。しかしながら、最近では施設の老朽化が進行し、さらに海外競合施設のアップグレードが進む中で、国際競争力の低下が懸念されています。

この状況を変革し、長期にわたって我が国の科学技術と社会を支え続けるために、SPring-8 施設の大規模なアップグレードを行う「SPring-8-II」計画の検討がはじまっています。

今後、詳細な検討を行うにあたり、利用ニーズの定量的な把握が重要となっており、このために今回、無記名の「利用ニーズ調査」を実施いたします。

詳しくは、下記の専用サイトをご参照下さい。

専用サイト: <https://user.spring8.or.jp/?p=48085>

回答期限：2024 年 1 月 31 日（水）

回答の所要時間は約 10 分程度です。

既にご利用経験がある方にとどまらず、将来の放射光利用にご興味をお持ちの方も含めて、学術・産業界のできるだけ多くの方々からのニーズを承りたく存じます。

皆様のご協力を是非よろしくお願いいたします。

国立研究開発法人 理化学研究所 放射光科学研究センター
センター長 石川 哲也

公益財団法人 高輝度光科学研究センター
理事長 雨宮 慶幸

<本件に関するお問い合わせ先>
SPring-8 ニーズ調査事務局
E-mail : sp8_needs_survey@jasri.jp
